

足立区とUR都市機構が竹の塚のまちの未来を考える 「まちづくりラボ・プロジェクト」を始動

東京都足立区（以下、「足立区」と）独立行政法人都市再生機構（以下、「UR都市機構」と）は、東武スカイツリーライン竹ノ塚駅周辺のまちの未来を地域のみなさまとともに考える「まちづくりラボ・プロジェクト」を始動させます。

令和5年1月19日に竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会※を交え、当プロジェクトのキックオフ・セレモニーを開催しました。また同日、足立区とUR都市機構が連携及び協力し、当プロジェクトを推進することを目的として、「竹の塚まちづくりラボ・プロジェクト推進に関する基本協定」を締結しました。

今後も、足立区とUR都市機構は、竹ノ塚駅周辺のまちの活性化と持続可能なまちづくりをさらに進めてまいります。

※地元の町会・自治会や商店会役員などで構成される、竹ノ塚駅周辺のまちづくりに関する意見交換や検討を目的とした組織



【写真（左から）】

UR都市機構 東日本都市再生本部 本部長 中山 靖史

UR都市機構 東日本賃貸住宅本部 東京北・埼玉地域本部長 内島 敏之

足立区議会議員 工藤 哲也

足立区長 近藤 やよい

竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会副会長 山本 英幸

※「まちづくりラボ・プロジェクト」キックオフ・セレモニー時に撮影

お問い合わせ先

◆足立区 都市建設部 まちづくり課	Tel 03-3880-5933
◆UR都市機構	
東日本都市再生本部 事業企画部	Tel 03-5323-0783
東日本賃貸住宅本部 東京北・埼玉エリア再生部	Tel 03-6907-0561

1 まちづくりラボ・プロジェクトの活動内容

- ・ 地域の声が集まる居場所としての拠点施設「ミントポ」の運営と、多世代でまちづくりを考えるワークショップ等のイベントの実施
- ・ 地域の声・ニーズを踏まえたまちづくりの方向性検討
- ・ 地域やまちづくりに関する情報発信

《参考》まちづくりラボ・拠点施設「ミントポ」の概要

場所：UR竹の塚第3団地3号棟101・102区画



ミントはお菓子やお茶にも使うハーブの一種。
ミントポ ポはポジティブやポッシブルの頭文字。
トポスとは場所や観点の意味。



拠点名のミントポってどんな意味？

ミントはお菓子やお茶にも使うハーブの一種。

トポスとは場所や観点の意味。

ポはポジティブ（前向き）やポッシブル（可能性）の頭文字でもあります。

みんなで地域や将来のことに取り組んでいく。

そんな思いを込めつつ、爽やかな緑に溢れる居場所をイメージした名前です。

2 竹の塚まちづくりラボ・プロジェクト推進に関する協定の内容

(1) 締結者

- ・ 足立区長 近藤 やよい (こんどう やよい)
- ・ 独立行政法人都市再生機構
東日本都市再生本部 本部長 中山 靖史 (なかやま やすふみ)
東日本賃貸住宅本部 東京北・埼玉地域本部長 内島 敏之 (うちじま としゆき)

(2) 目的

「竹の塚まちづくりラボ・プロジェクト」の推進

(3) 協定期間

令和5年1月19日から令和7年9月30日まで

3 背景・目的

平成23年度に事業認可された、東武スカイツリーライン竹ノ塚駅を中心とした1.7kmの区間における鉄道を連続的に高架化する連続立体交差事業（鉄道高架化）は、令和5年度に完了を予定しています。本事業のうち、同駅の高架化工事が令和4年3月20日に完了し、駅南北の2か所にあったいわゆる「開かずの踏切」が解消され、地域の安全安心がひとつ確保されました。これを契機として、竹ノ塚駅周辺の東西一体のまちづくりを進めていくにあたり、令和4年3月31日に足立区・UR都市機構・東武鉄道株式会社（以下、「東武鉄道」）の3者によるまちづくりに関する基本協定（以下、「3者協定」）を締結しました。

今般、3者協定をより具体的に進めることを目的に、足立区とUR都市機構は「まちづくりラボ・プロジェクト」を始動させます。

まちづくりラボ・プロジェクトでは、地域のみなさまの声から課題やニーズを把握し、現在検討が進んでいるエリアデザイン計画やまちづくりに活かします。また、生み出される「活動」や「交流」から、「自分ゴト」としてまちづくりに参加していただけるような仕組みを検討していきます。このプロジェクトを通じて、体感治安の改善に向けたプラスイメージを創出し、竹の塚らしさを活かした「ひとが主役のまち」を目指していきます。

まちづくりラボ・プロジェクトの始動に際しては、令和5年1月19日に、日常的に多くの方にご利用いただけるような地域のコミュニケーションの場として、UR都市機構竹の塚第三団地3号棟に拠点施設「ミントポ」を開設いたしました。

本プロジェクトにより竹ノ塚駅周辺のまちづくりへの機運を高め、3者協定に基づき足立区、UR都市機構、東武鉄道にて連携してまちの活性化と持続可能なまちづくりをさらに進めてまいります。

【竹の塚まちづくりラボ・プロジェクト】

ラボ拠点施設「ミントポ」



周辺公共施設など

「地域の声」から「交流」「活動」を生み出し、まちを「自分ゴト」にする

-竹の塚エリアデザイン-

まずは

”体感治安”の改善

方向性1 ビューティフル・ウィンドウズ運動の強化!! ※

・竹の塚エリアの体感治安を大きく下げている要因に対しての具体的な取り組み

方向性2 プラスイメージの創出!!

・若い人や居住年数の短い人も地域と交流できる場づくりを推進

>効果検証<
アンケートやインタビューにより活動を評価

「地域の声」や「活動」からニーズを捉える

担い手を育成し自律的な仕組みを構築

エリアデザイン計画やまちづくりへ
〔駅周辺機能、けやき通り沿道・駅前広場の利活用など〕

継続的なエリアマネジメント活動へ
〔活動内容、活動原資、組織形態など〕

※「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという、足立区独自の運動

(参考)

○竹の塚まちづくりラボ・プロジェクトが始動（足立区HP）

https://www.city.adachi.tokyo.jp/machizukuri/takenotsuka_lab.html

○竹の塚まちづくりラボ・プロジェクトの拠点施設ミントポについて（Instagram）

https://www.instagram.com/mintopo_takenotsuka/

○プレスリリース 東武スカイツリーライン竹ノ塚駅周辺を対象足立区、UR都市機構、東武鉄道が竹ノ塚駅周辺のまちづくりに関する協定を締結（令和4年3月31日）

https://www.ur-net.go.jp/east/press/hndcds00000048qi-att/220331_takenozuka.pdf